



## デバイスの設定

このメニューのアイテムを使用し、MAESTRO に関連するパラメータを設定します：

- 桁数：測定精度を設定するにはこのメニューを使用します。
- シリアルコマンド：SOL02 との互換性を設定し、RS-232、USB とアナログ出力を使用します
- イーサネット：イーサネット通信プロトコルを設定します。
- 言語：表示言語を選択します：英語、ドイツ語、日本語、フランス語（ファームウェア V1.04.02 以上）



## 測定器の設定

このメニューのアイテムを使用し、測定器に関連する全てを設定します：

- 波長：提供されている標準波長のひとつを選択し、カスタム値を入力して独自の標準波長のリストを作成します。
- 範囲：自動スケールまたは固定スケールの測定範囲を設定します。
- 測定モード：このメニューを使用し、平均出力、シングルショットエネルギー、パルス対パルスなど、表示する測定タイプを決定します。
- 修正：マルチプライヤーとオフセットを入力します。
- トリガレベル：トリガレベルを、0.1%から 99.9%までの間で 0.1%ステップに調節します。



## デュアルスクリーンディスプレイ(スコープディスプレイで表示)

デュアルスクリーンモードの場合、MAESTRO はその特大スクリーンを最大限に活用します！デュアルあるいはシングルディスプレイモードのいずれでも、全てのディスプレイモードを使用できます。デュアルディスプレイモードでは、画面の上部がリアルタイム表示で、その他の表示(スコープ、指針、平均化または統計)は下部に表示されます。下部の表示は、画面中央のドロップダウンメニューからパラメータバーを使用して容易に変更することができます。また、最大化ボタンを使用して、ディスプレイのいずれかをフルスクリーンモードで拡大することができます。同じように最小化ボタンを使用すれば、簡単に、デュアルスクリーン表示に戻ることができます。



## リアルタイムディスプレイ

この表示は、下部に対応する棒グラフとともに、リアルタイムで測定値を示します。大きなサイズの数字と、グラフィックの高コントラストにより、離れた距離からでも測定値を容易に見ることができます。このモードは、デュアルスクリーン表示でも、画面の上部に常に表示されています。

- 大型数字
- 棒グラフ



### スコープ表示

スクリーンの右から経時的に線グラフが表示されるこのモードは、実際のオシロスコープの読取に近いものです。設定には、時間(X軸)および範囲(Y軸)が含まれます。基本的な統計も、スクリーン上に直接表示することができます。

- オシロスコープ型グラフ
- オンスクリーン、リアルタイム統計(最小、最大、平均)
- X軸及びY軸は完全にカスタマイズ可能



### 指針表示

アナログ針とまったく同じですが、高速です！このモードはレーザー調整に大変便利です。画面の上部にリアルタイム値が表示されます。

- 超高速の読取
- 調整も容易
- 画面の上部にリアルタイム値
- 最小値と最大値をホールド



### 平均表示

非常にユニークなこのモードにより、レーザーの経時的傾向を示すことができます。バッチあたりのポイント数を設定し、MAESTRO に、各バッチの最小値と最大値を認識させます。黄色の曲線が、棒グラフの各バッチ平均に沿って表示されます。バーの白い部分と青い部分の差異が大きければ大きいほど(最小値と最大値に相当)レーザーは不安定です。

- 測定バッチの最小値、最大値、平均値を演算します
- 経時的にレーザーの安定性をチェックするのに最適です